

令和7年度 第4回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）（※敬称省略）

- 1 開催日時 令和8年2月25日（水） 9時30分から11時35分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷一雄、水谷加寿代、原隆之、森田賢児、鈴木麻衣子、
中川有香(学校支援コーディネーター)、高橋克好
- 4 欠席委員 廣野篤男、鈴木徹也
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林延和（校長）、岡本綾子（教頭）、前田武稔（主幹教諭）、
伊藤龍彦（CSディレクター）
- 7 学校支援コーディネーター 松本薫
- 8 傍聴者 川合裕美
- 9 会議録作成者 CSディレクター 伊藤龍彦

10 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 後期学校評価について
- (2) 来年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(熟議)

(1) 後期学校評価について

主幹教諭より、資料に基づき、説明があり、委員からは、下記の発言があった。

- ・ 教室の様子を見てきたときに、子供たちみんなが挨拶を返してくれた。挨拶がとてもよくなっている。今日はピンクシャツデーだと聞いた。知っていれば、ピンクを着てきたので、お知らせしてくれるとうれしい。（原委員）
- ・ 鍛え合い部の高い数値は納得できる。市町村駅伝で相生小の子供が3名出場した。中学生を含めると全員で4名になる。また、先日のシティマラソンでは、相生の子が優勝もした。（森田委員）
- ・ 安全のためにターザンロープが廃止になると聞いている。体を動かす遊具を、どうやって担保するのかを聞きたい。（森田委員）
- ・ 相生小の問題だけではなく、市全体として、遊具の老朽化による危険性が出てきている。耐用年数の問題もあり、プールの廃止が検討されている。どのようにしていくのか、課題である。休み時間の運動場利用も制限されてきている。教師・地域・保護者にも理解が必要だと思う。今後は、公共のプールを利用していくことになる。（校長）
- ・ 中学校も、手探りで部活動や地域の活動の在り方を考えている。二極化が進んでいる。全市の課題として考えなければならない。特に、体育については、大きな課題となる。（森田委員）
- ・ 子供たちには、体を動かす大切さを実感してほしい。ハロスポのように体を動かす楽し

- さを感じて欲しい。 (校長)
- ・ 挨拶には感心している。九九検定では、苦手の子もいて気になった。苦手な子がふえてくると、クラスがざわつき、問題になるのではないのか。20秒以内に九九を言うのが本来であるが、子供に対する配慮も必要である。その子に応じた対応をしていかないといけない。 (会長)
 - ・ 九九検定は、すぐにボランティアが入った。クラスに4～5名のボランティアが入ったが、苦手の子は、行き詰っていた。別の部屋でマンツーマンで対応するボランティアも必要かもしれないと思う。 (中川委員)
 - ・ 九九ができない子は遊んでしまう。ボランティアをもっと使ってほしい。 (水谷委員)
 - ・ CSルームを作ってくれれば、九九も個別に聞ける。 (麻衣子委員)
 - ・ 挨拶の件は、たすきにも効果があると思う。知らない人からも声がかかる。卒業生からも声掛けがある。 (水谷委員)
 - ・ 子供たちが、卒業してからもやってくれていて、継続していることが本物だと思う。 (会長)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 来年度学校運営の基本方針について

校長より資料に基づき、説明があり、委員からは下記の意見があった。

- ・ 相生小の交通事故を踏まえて、ここは危ないという箇所を拾い上げる。ボランティアの交通リーダーと意見を交わすことが有効だと思う。 (森田委員)
- ・ 他の学校で聞いた話だが、外部で表彰された子が、評価されなかった。働き方改革のためなのか。 (森田委員)
- ・ 先生たちに時間がないわけではない。子供たちのことを十分考えている。 (校長)
- ・ ラーケーションという学び方は、平日、学校で3日間の休みを取り、校外学習をする。 (校長)
- ・ 今は、子供が学校を休んでUSJなどに行くによく聞く。 (原委員)
- ・ 保護者の有給取得と合わせて、子供と一緒に休みが取れる。 (麻衣子委員)
- ・ 今は、男性も育児休暇を取ることができる時代である。 (原委員)
- ・ 親子関係を見つめ直す良い機会だと思う。 (校長)
- ・ 多様な人材を求めるために、多様な経験をさせる必要もあると思う。 (森田委員)
- ・ 校外学習で裁判所に行った。説明を聞きながら、子供たちの知識に驚かされた。 (水谷委員)
- ・ 今まで、学習したことを目の当たりにする。自分の興味のあることにつながると思う。 (校長)
- ・ 校外学習は、興味・関心に応じて行き先を選択できるようにしている。(前田主幹教諭)
- ・ バスに乗るところから、ボランティアと一緒にに行けることは、大きな社会勉強になる。たくさんのボランティアが応援してくれることは、大変ありがたい。 (校長)
- ・ 子供のいじめの件ですが、放課後のバスケのクラブで、言い合いになったケースがあった。状況が分かり、和解したが、大勢の子と一人の言い合いは、いじめにつながりやすいと思う。いつものつもりで何気なく言ったことが、言われた子には気になる。いじめと感じればいじめになる。 (中川委員)
- ・ 相手に言われていやなことは、いじめになる。そうならないような関係をつくっていか

なければいけない。丁寧に対応して、どちらも納得するようにしていく。(校長)

- ・ いじめは、ダメだけど、けんかはして欲しい。自分の思いを言わなくなって、関係がくずれてしまうのではないかと。言い合いはして欲しい。(松本学校支援コーディネーター)
- ・ 意見を戦わせるのは、大切なことだと思う。暴力や暴言は問題がある。今、相生小では、先生たちの協力の下、双方の納得を得ていくようにしている。(校長)
- ・ 安全とたくましさを育てることと相反するかもしれないが、子供たちが人間関係を気付いていく過程だと思う。(森田委員)
- ・ 厳しさも必要かなと思う。残食が多いという理由については、食べ物を知らないから食べないという子がいる。(校長)
- ・ 豆腐を知らない子がいる。(麻衣子委員)
- ・ 1月の残食が少なかった。給食の作られる過程から教えたら食べるようになった。子供は、理解すると変わっていくから、指導することがたいせつだと感じている。いじめでも同じ。今の子供たちにあつた指導をしていく。(校長)
- ・ 自分が痛い目に合うと、人の痛みが分かる。残食が多い話は、参考になりました。(森田委員)
- ・ 私の勤務している学校では、食べきることに注目している。食べる量を自分で申請して減らしている。自分の食べる量を言わせて、自主性を持たせている。(麻衣子委員)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

会長より、資料に基づいて、令和7年度の学校運営協議会自己評価表について、説明がありました。

- ・ 令和8年度の目標に対して、ボランティアの登録項目を細かくした。保護者をふやし、地域では、現役の力を増やしていきたい。(中川委員)
- ・ タスキの周知ができて、多くの人に呼びかけができた。(中川委員)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

1.3 その他の報告事項等

教頭から夢育やらまいか事業について報告があった。

司会から令和8年度第1回学校運営協議会は、2026年5月12日(水)13:20～多目的室で開催する旨の報告があった。